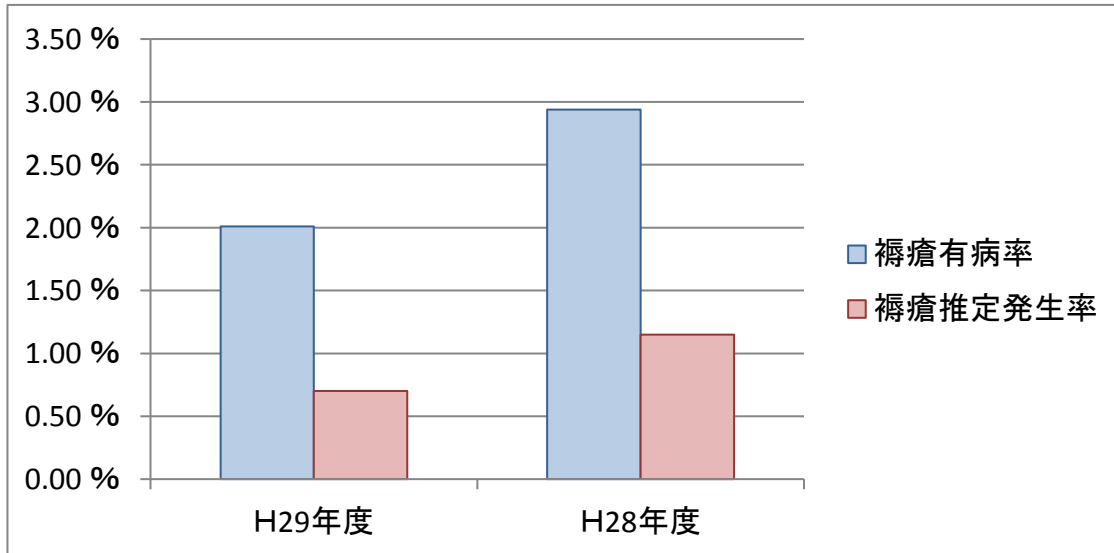


褥瘡推定発生率

	H29年度	H28年度
褥瘡有病率	2.01 %	2.94 %
褥瘡推定発生率	0.70 %	1.15 %



褥瘡有病率 (%)

(調査日に褥瘡を保有する患者数) / 調査日の入院患者数

褥瘡推定発生率 (%)

(調査日に褥瘡を保有する患者数 -

入院時既に褥瘡保有が記録されていた患者数) / 調査日の入院患者数

【褥瘡～どんな病気か？】

持続的な圧迫によって、組織の血流が減少・消失し、虚血状態、低酸素状態になって、組織の壊死が起こった状態です。

寝たきりや麻痺などで体位を変えられない人にできます。腰の仙骨部や足の踵の部分、骨が突出している部分など、圧迫を受ける部分に現れます。栄養不良状態があると褥瘡が治りにくくなり、慢性化しやすくなります。

【当院の対策】

当院では褥瘡ハイリスクケアを導入し、皮膚・排泄ケア認定看護師が専従となり褥瘡の予防に力を入れています。

皮膚・排泄ケア認定看護師はケアプランの計画や処置方法についての介入を行い、褥瘡管理チーム（専任医師1名、専任看護師15名所属）及び褥瘡委員会（専従看護師1名、NST1名、リハビリ職員1名）による週1回のラウンドを実施し評価を行っています。